

分野	住民自治	施策	市民活動支援		
分野計画名称	—			行政経営戦略 参照ページ	P49
施策の展開（大項目）	1 市民主体のまちづくりの推進				
KPI (指標)	「地域の活動に参画している」と回答した市民の割合				
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果
	増加	32.0%(令和2年度)	28.2%	30.7%	29.1%
中項目	1 市民活動の支援			分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績			分析・考察	
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 市民公益活動団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を6回(前年度比+1回)開催し、延べ109人(前年度比+11人)が参加した。うち1回は大阪府と協働で実施した。 商工会と共に、「ソーシャルビジネス」をテーマにセミナー及び交流会を実施し、24人(前年度比+3人)が参加した。 市民活動支援講座として、「市民公益活動団体の世代交代」を開催し、18人が受講した。また、「クラウドファンディング講座」を開催し、10人が受講した。 地域課題解決等に取り組む6団体(前年度比+2団体)に市民公益活動補助金を交付した。 市民公益活動補助金について、審査委員から物価高騰の影響によって金額の合理性を再検討すべきではないかと意見が付されたことから、近隣他市へ補助額等の調査を実施した。 市内のNPO法人数は18団体(前年度比+1団体)であった。 広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載するとともに、各施設で市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」に、述べ50,368人がサイトにアクセスした。 本市にふさわしい中間支援の在り方を検討するため、近隣他市で実績のある中間支援組織による講座や相談、伴奏支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民公益活動団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにはそれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、継続実施していく。 市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 引き続き、摂津市商工会と連携して民間企業の補助金の案内や申請支援などを実施していく。 近隣他市へ市民公益活動補助金について調査した結果、初期事業コースの上限は現行と同じ10万円。初期の段階で費用が必要と思われる所以2年間10万円を補助。補助率は9/10から10/10にする。発展事業コースの上限は30万円(据え置き) イベントナビは、より多くの方にアクセスしてもらえるよう、広報せつ等を通じて周知に努める必要がある。 中間支援のあり方について、市民活動団体の様々な活動フェーズに合わせた柔軟な支援ができる中間支援組織が必要であり、「協働のまちづくり推進委員会」で議論を深めていく。 			

中項目	2 地域コミュニティ活動の支援		分野計画参照ページ	-
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
地区振興委員事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・98人(前年度比-2人)の方を地区振興委員に委嘱し、地域住民と行政のパイプ役として、行政書類の配布を行っていただくとともに、地域課題に関する意見等を委員から拝聴した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区振興委員の担い手が減少している。要因は少子高齢化や定年延長など、社会環境の変化等と考えられる。地区振興委員の役割が大きな負担とならないように、引き続き行政からの依頼事項等の整理を行う。 		
自治活動推進事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの校区(地区)連合自治会に地域活性化事業補助金を交付し、美化活動や防犯・防災活動等、26件(前年度比+2件)の事業が実施された。 ・地域コミュニティ団体、市民公益活動団体、事業者等、多様な主体が連携することによる地域コミュニティの活性化を目的とした条例の制定について、府内で検討委員会を5回開催し、多様な主体への意見聴取やパブリックコメントを実施することで、令和7年3月に摂津市協働のまちづくり推進条例を制定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年4月1日時点の自治会加入率は38.6%(前年度比-2.9%)となっており、年々減少傾向にあるため、自治会活性化策の検討を進める必要がある。 ・条例の規定に基づき、協働のまちづくり推進委員会を設置し、令和8年度までの2年をかけて、協働のまちづくりの推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、協働のまちづくり推進計画の作成を行う。 		

分野	住民自治	施策	市民活動支援	
分野計画名称	—		行政経営戦略 参照ページ	P49

施策の展開（大項目）	2 多様な担い手との協働の推進					
KPI (指標)	「地域の活動に参画している」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
KPI (指標)	増加	32.0%(令和2年度)	28.2%	30.7%	29.1%	40.0%
	市民活動等に関する交流会の参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	134人	138人	135人	159人	200人

中項目	1 協働の土壤づくり	分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 市民公益活動団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を6回(前年度比+1回)開催し、延べ109人(前年度比+11人)が参加した。うち1回は大阪府と協働で実施した。 商工会と共に、「ソーシャルビジネス」をテーマにセミナー及び交流会を実施し、24人(前年度比+3人)が参加した。 広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載するとともに、各施設で市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 本市にふさわしい中間支援の在り方を検討するため、近隣他市で実績のある中間支援組織による講座や相談、伴奏支援を行った。 地域コミュニティ団体、市民公益活動団体、事業者等、多様な主体が連携することによる地域コミュニティの活性化を目的とした条例の制定について、府内で検討委員会を5回開催し、多様な主体への意見聴取やパブリックコメントを実施することで、令和7年3月に摂津市協働のまちづくり推進条例を制定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民公益活動団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにはそれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、継続実施していく。 引き続き、摂津市商工会と連携して民間企業の補助金の案内や申請支援などを実施していく。 今後の市民公益活動の支援として、本市にふさわしい中間支援の在り方を検討する必要がある。 中間支援のあり方について、市民活動団体の様々な活動フェーズに合わせた柔軟な支援ができる中間支援組織が必要であり、「協働のまちづくり推進委員会」で議論を深めていく。 条例の規定に基づき、協働のまちづくり推進委員会を設置し、令和8年度までの2年をかけて、協働のまちづくりの推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、協働のまちづくり推進計画の作成を行う。 	—

<p>コミュニティプラザ管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者が主体となり、市民や文化関係団体と「南千里丘夕涼み会」「2024南千里丘クリスマスコンサート」「ロビーコンサート」等のイベントを開催した。また、市民団体や防災危機管理課・揖澤市消防等と「防災アトラクション」を開催し市民の防災意識を高めた。 ・広報紙や各施設のホームページに加え、SNSで市民活動団体のイベント情報を掲載し集客につなげるようにした。 ・施設内に市民公益活動団体の活動内容や活動日時を掲示し、参加希望者に情報提供了。 ・中学生の職業体験を受け入れ、複合施設の様々な関係各所で仕事の体験をし、また利用者の活動参加など職場体験を通して学校と地域のつながりに供した。 ・エントランスを七夕、ハロウイン、クリスマスなど季節に応じた飾りをし、市民の方に参加してもらう場を提供した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南千里丘夕涼み会は茨木辯天花火の実施日に合わせて開催し、野外コンサートと縁日と花火を楽しんでもらう内容としたことで多くの市民の来場があり、大変な賑わいがあった。花火終了後の撤収となつたことや雨天時の開催など実施時間、場所など指定管理者と検討し今後も継続して実施する。 ・エントランスでの七夕の短冊やハロウイン無料お菓子つりや写真撮影スポットづくりなどを、季節のイベントに市民の方が参加し楽しんでもらえたので継続していく。 ・SNSは定期的に更新できていることから、引き続き継続して投稿を行うことで、フォロワーが増えることを期待している。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。
<p>コミュニティセンター管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行なながら配架した。 ・「運動×防災教室」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計25回(前年度比-18回)開催し、計6,264人(前年度比+1,431人)。展示会の来場者数含む)が参加した。 ・新たに別府地域の団体である〈別府つどい場〉と『子どもアート体験イベント』、〈東別府新子ども会〉及び〈そらまめ〉(エントランス提案者)と『コミセンで真冬のきもだめし』等の企画イベントを行った。 ・例年行っている『コミセンで地域のみなさんと防災訓練』に地域の大学講師及び学生の協力を得て、ワンポイントレッスンコーナーを取り入れた。 ・広報紙や施設のホームページに加え、SNS(X)の立上げを行った。 ・広報紙や施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 ・施設内に市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者に対するアンケート結果を元に、参加者の満足度が高い講座・イベントについて引き続き実施してきたが、これら例年の講座・イベントが地域に定着してきたことや、講座内容の見直しを行なったこと等から、講座参加者が年々増加している。稼働率の向上を図るために、これまでのノウハウを生かし、新たな講座を企画することを検討する。 ・SNSを立上げたことにより、イベント情報の発信がよりスムーズになった。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。
<p>正雀市民ルーム管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の低い貸室(調理室)の利用促進を図るため、パン教室を開催した。 ・市民公益活動に関するチラシを配架した。配架にあたっては、法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行なった。 ・好立地・指定管理者の持つノウハウにより、吉本興業(株)に所属する芸能人を講師とする目玉講座を開催し、56名の参加と大盛況であった。 ・地域のイベントに関わり、施設の認知度向上に努めた。 ・「ハッピーヨガ教室」等、10講座(前年度比+3講座)を開催し、延べ1,510人(前年度比+52人)が参加した。 ・令和5年度に引き続き、旧市民サービスコーナーの利活用としてコーヒー飲料の販売を行い、販売件数2,995本(前年比+738本)であった。 ・広報紙や施設ホームページで市民活動団体のイベント情報について掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度はパン教室・味噌作り・和菓子作り・フラワーアレンジメント等、親子で参加できる取組を多数企画し行なった。今後においても、若年齢層の利用促進や、親子で参加できる自主事業の企画を指定管理者と協力して取り組む。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。 ・たそがれコンサート等の地域イベントへの参画を継続することで、施設をPRしていく。

中項目	2 市民公益活動の仲間づくり		分野計画参照ページ	－
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
自治活動推進事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・自治連合会・老人クラブ連合会・民生児童委員協議会・社会福祉協議会と市で構成する「つながりのまち摂津連絡会議」において、つながりの大切さを伝える活動として、市役所で啓発チラシの配架、市内の広報板(約200ヶ所)に啓発チラシの掲示、広告付き窓口案内システムへ情報の掲載、またのぼり旗の設置を行うとともに、JR千里丘駅ガード上の歩道橋及び鳥飼八防歩道橋に横断幕を掲示した。 ・JR千里丘駅での街頭啓発や、参画団体が共通して持つ課題をテーマに講師を招く地域交流研修会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながりのまち摂津連絡会議」での街頭啓発や、地域交流研修会を契機に、地域コミュニティ団体の活動の活性化を図るとともに、地域コミュニティの連携をさらに広げる必要がある。 ・つながりのまち摂津連絡会の活動内容のPR方法について検討する。 ・摂津市協働のまちづくり推進条例の制定に伴い、「つながりのまち摂津連絡会議」の今後のあり方について検討を行う。 		
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を6回(前年度比+1回)開催し、延べ109人(前年度比+11人)が参加した。うち1回は大阪府と協働で実施した。 ・商工会と共に、「企業と団体が地域を共創する」をテーマに、グループワークを交えたセミナー及び交流会を実施し、24人(前年度比+3人)が参加した。 ・市民活動支援講座として、「市民公益活動団体の世代交代」を開催し、18人が受講した。また、「クラウドファンディング講座」を開催し、10人が受講した。 ・市内のNPO法人数は18団体(前年度比+1団体)であった。 ・本市にふさわしい中間支援の在り方を検討するため、近隣他市で実績のある中間支援組織による講座や相談、伴奏支援を行い、団体間のつながり作りを目指す任意団体が立ち上がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにはそれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、継続実施していく。 ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・今後の市民公益活動の支援として、本市にふさわしい中間支援組織の在り方の分析・調査を行った。 ・中間支援のあり方について、市民活動団体の様々な活動フェーズに合わせた柔軟な支援ができる中間支援組織が必要であり、「協働のまちづくり推進委員会」で議論を深めていく。 		

中項目	3 市役所の協働力の向上		分野計画参照ページ	－
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・「摂津市における協働と市民公益活動支援の指針」に基づき、市民団体及び市職員を対象に「これから摂津市の中間支援を考えよう」について協働研修を実施した。(参加人数 市民団体20人 市職員36人) ・府内で地域コミュニティの活性化に向けた条例制定検討委員会を立ち上げ、摂津市協働のまちづくり推進条例を制定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と職員が共に学び、協働の価値観を共有できる研修は重要であることから、今後も引き続き実施していく必要がある。 ・条例に基づき、協働のまちづくりを着実に進めていくため、府内に協働のまちづくり推進本部を設置し、進捗管理を行っていく。 		
一般事務事業 政策推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・日本郵便株式会社及び摂津警察署とこどもの見守り体制に係る連携協定を締結する一方、事業の見直しに伴い市外宿泊施設の利用に関する連携協定を廃棄するに至るなど、公民連携に関する協定が100件(前年度比-5件)となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域課題の解決に向けて公民連携を推進し、市民サービスの向上につなげる。加えて、各連携協定における取組状況を整理していく必要がある。 		

<p>鳥飼まちづくりグランドデザイン 推進事業 政策推進課(鳥飼地区まちづくり担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼東小学校跡地を効果的に利活用するために、地域の賑わい拠点としての検討を行う必要があることから、地域の皆様から鳥飼東小学校跡地に関する活用アイデアを募集を行い、幅広い意見募集を行うことができた。 ・鳥飼東小学校跡地活用において、跡地活用に関するワークショップを鳥飼東小学校で1回実施した。参加者22名が思い描く跡地活用について話し合い、活用アイデアの重要度を図ることができた。 ・わいわいガヤガヤ祭では、市内事業者や商工会等の有志の協力のもと、まちづくり応援隊ブースにて、鳥飼まちづくりグランドデザインのPR及びワークショップを実施した。 ・万博開幕6ヵ月前イベントとして開催した鳥飼ワン！ば～く万博では、実行委員会が中心となってイベントの企画・運営を行い、淀川河川公園鳥飼下地区には約1,300名が来場した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼東小学校跡地活用の取り組みとして、アイデア募集では239件ものアイデアが集まり、また、跡地活用のワークショップにおいても、様々な世代の方に参加して頂き、鳥飼東小学校跡地活用に対する地域の方の関心も高く、跡地活用に向けて活発な意見交換ができた。 ・わいわいガヤガヤ祭では、普段のワークショップではなかなか参加が難しい子育て世代の方をターゲットにワークショップをおこなった。ワークショップでは、淀川河川敷の賑わい創出に向けて意見の聞き取りを行い、子育て世代が考える淀川の河川敷の賑わいに必要なものについて意見交換を行うことができ、子育て世代のニーズを確認することができた。 ・行政、地域住民や地域団体、民間事業者がそれぞれの役割分担のもと地域の賑わいイベントが実施できた。今後もワークショップ等を通じて協働のまちづくりの主体となる担い手の発掘に向けた取組を進めていく必要がある。
<p>摂津まつり振興会補助事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第48回摂津まつりを開催した。今回からAIによる人数カウントシステムで来場者数をカウントし、1日目の来場者数は、約22,000人であった。2日目は豪雨のため中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津まつりは職員と市民団体、事業者等との協働が実践できる大変貴重な土壤であり、広く市民に憩いとやすらぎを与え、ふるさと意識を醸成し、市民相互の交流とふれあいを図ることを目的に開催しており、多くの団体や事業者、市民が関わっていることから継続して実施する。

分野	住民自治	施策	市民活動支援	
分野計画名称	—		行政経営戦略 参照ページ	P49

施策の展開（大項目）	3 コミュニティ施設の整備					
KPI (指標)	コミュニティ施設の稼働率					
	推移の方向性	基準値	令和04年度 結果	令和05年度 結果	令和06年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	33.0%	28.1%	29.7%	30.5%	40.0%

中項目	1 施設の維持管理	分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察	
コミュニティプラザ管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 誘導灯バッテリー交換、全熱交換器修繕、防火シャッター修繕を実施した。 館内照明のLED化(リース契約による)を実施した。 防犯カメラの更新(リース契約による)を実施した。 各種定期点検を実施した。 年間稼働率は42.5%(前年度比+1.7%)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理の難しい屋上庭園について、引き続き維持補修に努めるほか、将来的な大規模改修の必要性について検討する必要がある。 舞台装置の経年劣化が進んでおり、更新の優先順位・方法を検討しながら、計画的な更新を行う必要がある。 	
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 各種定期点検を実施した。 年間稼働率は26.0%(前年度比+1.3%)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな修繕が必要な状況ではないが、引き続き、計画的かつ緊急性に応じた修繕を実施していく。 一部設備に経年劣化が見られるため、計画的な更新を行う必要がある。 	
市民ルームフォルテ管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 各種定期点検を実施した。 年間稼働率は19.0%(前年度比+0.6%)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 大きな修繕が必要な状況ではないが、引き続き、計画的かつ緊急性に応じた修繕を実施する必要がある。 	
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> 館内照明のLED化(リース契約による)を実施した。 漏水対策として、屋上笠木の塗膜防水・シーリング打ち直しを行った。 各種定期点検を実施した。 年間稼働率は34.4%(前年度比-0.3%)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 竣工から約30年を経た建物全体に劣化が見られ、計画的かつ緊急性に応じた修繕を実施する。 貸室や廊下の壁紙の著しい損傷が見られるため、貼り替えを検討する必要がある。壁紙の損傷の原因は漏水にあると予想されることから、外壁の漏水対策を行う必要がある。 	

中項目	2 施設のあり方の検討		分野計画参照ページ	-
関連する主な事業	令和06年度 の取組実績	分析・考察		
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)味生コミュニティセンター基本構想・基本設計に基づき、(仮称)味生コミュニティセンター建設に係る実施設計を行った。また、建設用地の取得を行った。 ・都市構造再編集中支援事業費補助金の対象事業として、令和6年度分の交付を受け、令和7年度分の要望を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)味生コミュニティセンター付帯施設整備工事及び新築工事を実施する(新築工事は令和8年度竣工予定)。 ・令和7年度分の都市構造再編集中支援事業費補助金の交付を受け、令和8年度分の要望を行う。 		